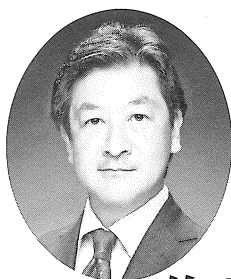




出版クラブ会報
No.632



「出版界の失われた30年」に 終止符を打つ迅速で大きな改革を

日本出版クラブ会長

野間 省伸

(のま・よしのぶ)

あけましておめでとうござ
います。

昨年は日本人2名がノーベ
ル賞受賞といううれしいニ
ュースがありました。生理学・
医学賞を受賞した坂口志文さ
んは、12月の授賞式前の恒例
のイベントで、受賞理由とな
った「制御性T細胞」がキャ
ラクターとして登場するコミ
ック『はたらく細胞』を、ノ
ーベル博物館に私物として寄
贈しました。コミックという
媒体は、世界最先端の研究で
も分かりやすく世の中に伝え
るメディアでもあることが世
界中に認識された一例と言え
ます。
書籍に目を向けると昨年の

年間ベストセラーは、吉田修
一さんの『国宝』がダントツ
の1位でした(トーハン調
べ)。さらにこの本を原作と
した映画は興行収入が邦画の
実写における歴代最高記録を
更新しました。吉田さんは黒
衣として3年間舞台を取材さ
れたと言います。綿密な取材
に裏付けられた物語は映画業
界も巻き込んだ一大ムーブメ
ントとなりました。

近年ヨーロッパでは日本文
学ブームが起きています。特
にイギリスでは柚木麻子さん
の『BUTTER』(新潮社)
が英国推理作家協会賞(ダガ
ー賞)翻訳小説部門の最終候
補作に、雨穴さんの『変な絵』

(双葉社)が大手書店チェー
ンウォーターストーンズが選
出する2025年「年間ベス
トブック賞」において、最終
候補にノミネートされたりも
しています。
非常に注目され評価も高い
作品が出ている一方で、出版
業界の大きな課題の一つが書
店の数がこの20年で約半分に
減少していることです。これ
を受けて、昨年6月に「書店
活性化プラン」が経済産業省
から公表されプロジェクトチ
ームが大臣直轄で立ち上げら
れました。

また、昨年11月には書店議
連の中心メンバーでもある齋
藤健元経産大臣が衆議院予算
委員会で書店支援の強化を求
めたのに対して、高市早苗首
相から「書店活性化プランに
基づく支援策を引き続き実施
し、今後もしっかりと書店の
活性化を進める」という明確
な答弁がありました。
今後は課題解決の施策をど
う具現化するか、一刻も早い
改善に向けた実行力が大切で
す。いつも申し上げているよ
うに、書店はただの販売拠点
ではなく、読者が未知の情報
や新しい価値観に出会う場
であり、文化創造の基盤でもあ
ります。出版界が豊かに発展
するためには、書店の活性化
が不可欠だと考えます。
昨年の第64回全出版人大会
には、約400人の方々にお
集まりいただきました。有斐
閣社長の江草貞治様に大会委
員長をお引き受けいただき、
「たくさんある課題に対して
全出版人が同じ方向を向くこ
とが簡単ではなくなっていま
す。それでも一丸となってい
るべきことがたくさんある
ぞ」という大会声明をいただ

主な記事

- ▽2026年 新年名刺交換会団体代表ご挨拶……………一〇五
- 野間 省伸・小野寺 優・宮原 博昭・近藤 敏貴・矢幡 秀治
- ▽新春紙上名刺交換……………六〇七
- ▽震災対策室だより……………一八〇
- ▽「出版歳時記」ある読書人の痕跡……………二一〇

きました。また、記念講演で
は宇野重規東京大学社会科学
研究所所長から「全出版人の
みなさまとともに、知の民主
主義を通じて、権威主義とリ
バタリアンに対抗していきた
いと思っています」という力
強いお言葉がありました。

(講談社社長)

2026年は高校1年生の教科書改訂年度であり、教育出版業界においてビジネスチャンスが期待できる年となります。弊社としては、学参・辞典等の販売増強を通じ、業界を盛り上げるべく、エンドユーザー及び書店店頭向けには、「オリジナル拡材」を活用した売場作り提案を、図書館向けには、「教科書出る本」を軸とした提案活動を積極的に展開して参ります。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。（日教販代表取締役社長）

2026年頭所感

渡部 正嗣

新年あけましておめでとうございます。AIが時代を大きく変えようとしています。「自立型AIエージェント」や「AIコード生成ツール」が今までのプログラミングやシステム開発のあり方を根底から変えようとしています。開発プロセス自体をAIを駆使して抜本的に変えて行く時代に突入しました。開発の速度も品質も圧倒的に飛躍します。学びと実践を加速したく思います。精進の時です。一層のご指導、宜しくお願ひ申し上げます。（光和コンピューター代表取締役）

AIが変えるシステム開発

寺川 光男

読書推進で飛躍の一年に
全国的書店の店頭を活性化させる為に業界一丸となって取り組んできた読書推進運動が少しずつ根付いてきたような手応えを感じます。読書によって広い世界を知り、深く物事を考える習慣を身に付けることが、この混沌の時代を切り拓く力となることとして、ひとりでも多くの読者に伝わることを願ってやみません。読書離れなど言って下を向くのではなく、新しい年を業界の飛躍の一年とするべく、共に取り組んで参りましょう。（紀伊國屋書店代表取締役会長）

スマホ、くそくらえ！

岡崎 満義

私はスマホをもっていない。雑誌殺しの親玉、スマホをもつつもりはない。生命保険のおばさんに「そんな妙な意地を張らずに、スマホをもてば人生観も変わって楽しくなりますよ」と笑われているが、私はスマホをもつつもりはない。スマホ全盛時代になって、雑誌が売れなくなつて出版社は弱っている。雑誌をめくる楽しさを知らない若い世代を、私は悲しく思っている。人差し指でスマホを押すのでなく、人差し指と親指でページをめくってほしい。（元文藝春秋社 元文藝春秋編集長）



本が結ぶ、人と地域と未来

大垣 守弘

新年を迎え、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。今年の干支は「丙午（ひのえうま）」。情熱と行動力で突き進む時期を示唆しています。中央社は今後とも安定した商品供給を継続するとともに、お得意様のさらなる飛躍を期して、役職員が一丸となって全力を挙げて新しい挑戦に取り組んでまいります。引き続き何卒倍旧のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。（中央社代表取締役社長）

年頭の所感

森岡 憲司

新年を迎え、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。今年の干支は「丙午（ひのえうま）」。情熱と行動力で突き進む時期を示唆しています。中央社は今後とも安定した商品供給を継続するとともに、お得意様のさらなる飛躍を期して、役職員が一丸となって全力を挙げて新しい挑戦に取り組んでまいります。引き続き何卒倍旧のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。（中央社代表取締役社長）

新年のご挨拶

日岐 浩和

新年明けましておめでとうございます。常日頃本づくりを通じてお世話になっております印刷会社で構成される「出版メディア協議会」を代表してご挨拶申し上げます。今年は六十千支では丙午（ひのえうま）にあたります。丙午のごとく情熱と勢いを胸に、出版業界が飛躍と発展の一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。本年も出版各社様の変わらぬご厚誼のほどよろしくお願ひ申し上げます。（東京都印刷工業組合、出版メディア協議会協議会長）

新年の御挨拶

倉田 敬子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様の出版活動から生み出される多様な出版物が、文化の発展と継承に果たす役割に心より敬意を表します。国立国会図書館は、納本いただいた出版物を国民共有の文化的資産として保存・継承することを通じて、出版界の皆様と共に知の循環をつくり、我が国の知の基盤が豊かなるよう力を尽くす所存です。本年も納本制度への御理解と電子書籍・電子雑誌の納入に御協力をお願い申し上げます。（国立国会図書館館長）

文化遺産としての出版

宮原 博昭

この夏、フランスの出版文化政策を視察し、国家が出版を「文化遺産」として守り育てる姿勢に深く感銘を受けた。法律による書籍の固定価格制や書店・出版社・著者への多様な支援、若者の読書推進、図書館の充実など、社会全体で本を大切に仕組むが根付いている。出版は単なる産業ではなく、社会の基盤であり、未来への贈り物。日本でも出版を文化の礎と捉え、国や地域、業界が一体となって支える政策を進めていきたいと強く感じた。（学研ホールディングス代表取締役社長）

連携・協力が不可欠

植松 貞夫

謹んで、新春のお慶びを申し上げます。当協会は、すべての図書館の振興を図る活動を展開して、人々の生活を豊かにし学術文化の進展に寄与することを目的とする公益法人です。そのため、出版界の皆様との連携・協力が不可欠です。出版社、書店、図書館、学校、地域、家庭が、「本を読む人を増やす」ことに向け連携協力しなければなりません。本年もよろしくお願ひいたします。（日本図書館協会理事長）

新春紙上名刺交換

= 2026年 年頭所感 — 出版人の声 =

脱「スマホ依存」

青木 康晋

福島県いわき市の東日本国際大学で教員を、日大では林真理子理事長サポータースタッフをしています。大学で学生のスマホ依存ぶりにびっくり。1日何時間、スマホにさわっていたか、簡単にわかるんですね。ゼミの学生は平均10時間。長い人は18時間も！本や雑誌を読む暇もないわけだ。折にふれ、書店に行つておいで、発見があるよ、と説いています。（東日本国際大学副学長、元朝日新聞出版社長）

レストスペースをつくりませんか

能勢 仁

書籍、雑誌の販売額がいよいよ一兆円を割る。（紙のみ）書高雑低です。2024年書籍5937億円、雑誌4119億円の売上。59・41です。雑誌の売場が昔のままの店が多い。これはロスですね。書籍のジャンル別売上構成に売場面積が適合していますか。営業日数、時間が昔のままではありませんか。売場の中にレストスペースを設けませんか。このスペースはふれあいの場であり、生産スペースでもあります。（フセ事務所代表取締役）

はじめまして

嘉悦 正明

令和7年10月に一迅社社長に就任いたしました。音楽サブスクとYouTubeにより日本のシティポップが世界に再発見され、いっぽうアナログレコードの魅力がZ世代の心を掴んでいます。デジタル技術の進歩が世界を締め、アナログの手触りが感動を深める。出版も電子と紙両面のグローバル展開が加速するでしょう。それに対応するために必要なことは……。結局、面白い才能を集めて作品に結晶化させる情熱なんだと思います。（一迅社代表取締役社長）

AIのフェイクニュースに踊らされないために

志村 孚城

昨今、自動音声や自動翻訳の目覚しい進歩を背景に、SNSやYouTubeなどで拡散される情報で人類が破滅に向かうことを心配しています。出版される情報と異なり、全くレビューされない情報がネットを飛び交い、生成AIがそれらの情報を検索して人が遭遇する課題に対する解を造り上げるのです。人はそれを信じてしまつて行動することが問題です。AIが作成した情報には、一歩立ち止まる勇氣を持ちましょう。（創生代表取締役）

優しさと感動を紡ぐ一年に

高木 靖文

新年明けましておめでとうございます。心を動かす物語には時空を越えて人を繋ぐ力があります。白泉社は、その物語の翼をIPとして羽ばたかせ、物販・映像・イベントを通じて、新たな感動を世界中へ届けます。ひとつの物語やキャラクターが世界のどこかで、誰かの人生を輝かせる。そんな奇跡が生まれますように。（白泉社代表取締役社長）

100周年を迎えて

南條 光章

弊社は本年6月に創業100周年を迎えます。100周年は大きな節目です。これまでの歴史の中で培った経験と知見をもとに、これからの出版活動を見据える大事な通過点でもあります。業界はいま、大きな変革期にあります。そのなかで、確かな知識と信頼できる情報を届けるという出版社の決意をもって、社員一丸となって果敢に前進してまいります。今後も変わらぬご支援を賜りますよう、お願ひいたします。（共立出版取締役社長）

日本と香港が逆転

工藤 裕樹

新年明けまして、おめでとう御座います。香港に初めて行ったときから50年経ちました。現地に友人も出来、家族ぐるみでお付き合いしています。コロナ前、友人が日本に来て時計を息子に買ってあげたいとセイコーを探し店内をしました。その友人は「日本は安い」、私はピンと来なかったが、昔日本人が香港へ買い物を旅行をしていた時の真逆になった。そして香港夜景の日系企業電飾看板は十数社から3社しか無くなった。（工藤出版サービス代表取締役会長）

変わる環境の中で、変わらぬ使命を

今村 哲也

日本複製権センターは、新聞・雑誌・書籍などの複製権を集中管理し、企業や官公庁などに利用許諾を行う管理事業者です。著作物の流通を円滑にし、創作への正当な対価を還元することを使命としています。生成AIなどデジタル技術の進展により、情報利用の形は大きく変わりつつありますが、私たちはその変化を恐れず、権利者と利用者をつなぐ信頼の橋渡し役として、出版文化の発展に貢献してまいります。（日本複製権センター代表理事）

漫画の力

山口 徳二

旧年中は格別なご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。出版を取り巻く環境が大きく変化していく現状ですが、私たちは「漫画の力」を信じ、次代を担う作品作りに挑み続けてまいります。本年も社員一同、心をひとつにして取り組む所存です。なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。（秋田書店代表取締役社長）